

「（仮称）和歌山県沖洋上風力発電事業 計画段階環境配慮書」の提出

2023年6月30日
関西電力株式会社

当社とRWE Renewables Japan 合同会社は、本日、環境影響評価法に基づき、和歌山県沖洋上風力発電事業に係る計画段階環境配慮書等※を経済産業大臣へ提出し、和歌山県知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年7月4日から8月2日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

両社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、環境保全に十分配慮し、事業実施の可能性など検討を進めてまいります。

当社グループは、2040年までに国内で新規開発500万kW、累計開発900万kW規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

以上

<（仮称）和歌山県沖洋上風力発電事業の概要>

事業者	関西電力株式会社、RWE Renewables Japan 合同会社
場所	和歌山県の沖合海域
設備規模 (発電出力)	最大 1,000,000kW (9,500~20,000kW級風力発電設備 50~110基程度)
今後の流れ	配慮書(今回) → 方法書 → 環境調査 → 準備書 → 評価書

<事業実施想定区域>



※上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを使用

※赤枠の着色部分は風力発電機設置想定範囲(赤枠の着色部以外は海底ケーブル設置想定範囲)

配慮書の公表及び縦覧案内については [こちら](#) をご覧ください。